

『関東ロールシャッハ“複合”研究会』のご案内

本研究会は、ロールシャッハ・テストにおける『阪大法』を学ぶ研究会となっておりますが、「複合」の名の通り、様々な他のスクールで学ぶ人にとっても理解がしやすいように工夫し、これまで事例検討や自主勉強会等を行なってきました。

基本的にオンラインでの開催となります。守秘義務が遵守できる臨床心理士/公認心理師及び臨床心理学を学ぶ大学院生の参加が可能です。皆様のご参加をお待ちいたしております。

《2023 年度研究会予定》

- ①5/21 (日) 13:00～17:00 『事例検討会』
- ②6/11 (日) 14:00*～17:00 『関西ロールシャッハ研究会合同研究会』
- ③7/16 (日) 13:00～17:00 『事例検討会 (阪大病院臨床心理士川口裕子先生)』
- ④9/10 (日) 13:00～17:00 『事例検討会 (大阪教育大学教授石橋正浩先生)』
- ⑤10/15 (日) 13:00～17:00 『事例検討会』
- ⑥11/12 (日) 14:00*～17:00 『関西ロールシャッハ研究会合同研究会』
- ⑦1/21 (日) 13:00～17:00 『企画会；子どもの発達とロールシャッハとの関係』
- ⑧2/18 (日) 13:00～17:00 『事例検討会 (関西福祉大学教授小笠原将之先生)』
- ⑨3/10 (日) 14:00*～17:00 『関西ロールシャッハ研究会合同研究会』 ※；開始時間に注意



QR：研究会HP

- ◎「臨床心理士継続研修ポイント」対象研究会（通年で7割以上参加が必要）。
- ◎金子書房「改訂版 ロールシャッハ・スコアリング 阪大法マニュアル」「ロールシャッハ検査法」等をご用意ください。
- ◎研究会への参加や事例発表等を希望される方は事務局 (e.rorschach.fsg@gmail.com) まで。
- ◎内容や講師等については、研究会 HP (<https://www.kantororschachfukugou.com>) をご参考にしてください。

～参加費 (2023 年度)；通年参加 18,000 円 (大学院生 10,000 円) ～
1 回の参加につき 3,000 円 (大学院生 2,000 円)



－阪大法とは？－

阪大法は大阪大学医学部精神医学科教室の故辻悟先生を中心とした「関西ロールシャッハ研究会」の活動とともに発展し、今日に至っております。

ロールシャッハの多くの流派が『主題・内容分析』を用いて解釈を進めていくのに対し、阪大法では『形式・構造分析』というオリジナルな考え方を用いて被験者のところにアプローチします。

この『形式・構造分析』の一端に触れると、被験者が「初期集約的把握」と呼ばれる発達段階を通過し、また「外輪郭形体」を捉えて反応しているか否かをプロトコルから読み取って解釈を進めます。これは精神分析的には自我境界の成立とも関連し、被験者の心の構造がプレエディパル～エディパルのどこに定位するのかの理解にもつながります。また記号化のプロセス自体を解釈過程と捉え、被験者のこのころのあり方を追体験しようとするのも阪大法の大きな特徴です。

中級者向けとも言われる阪大法ですが、ケース理解や心理療法の進め方、また近年注目されている発達障害においても、内的世界や精神構造を理解する上で重要な視点を提供します。当研究会では皆様の「わからない」「知りたい」という学びへの主体性を大切に、共に成長を目指してまいります。

